文部科学省 「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」採択事業

受講生募集中

「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」

国際医療福祉大学 大学院開講コース

対象：本学大学院修士課程・博士課程在学生 / VOD授業中心

最先端のがん専門医療人材を養成するコース

1 がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材育成コース

2 がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法開発を担う人材養成コース

3 がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース

4 がん看護CNSコース

本コースの特色

▷医療・福祉の総合大学の大学院として多彩な分野（4研究科・約50分野）の教員、本学の6つの大学附属病院を中心とした医師・看護師・薬剤師等による横断的かつ充実した講義

▷最前線の医療現場で活躍する多職種講師の知見・視野・現場課題対応方法を学修することで、コンセプチュアルスキルの修得が可能

▷社会人がキャリアアップを目指し働きながら学べるプログラム

※「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン（以下「がんプロ」という）」は、第4期がん対策推進基本計画の人材育成の強化として取り組むべき施策 ① がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材 ② がん予防の推進を行う人材 ③ 新たな治療法を開発できる人材等のがん専門医療人材を養成する拠点を大学間連携により形成することを目的としています。（文部科学省HPより抜粋）

写真はイメージです。

国際医療福祉大学大学院
INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

国際医療福祉大学 専務理事
三浦　総一郎

がんは現在人口の高齢化とともに益々我々の身近な存在となってきましたが、単に医学技術の進歩に頼るばかりでなく多職種のがん専門医療人による連携の取れた取り組みが必要とされます。本学大学院では過去20年近くにわたり文部科学省のがんプロフェッショナル養成プランに貢献し「がん専門医療人材育成」を推進して参りましたが、今年度もがん診療エキスパートが緊密な協力体制のもとに多職種人材養成プランを策定し、大学院開講コースとして提供いたします。豊富な教材とがんプロ養成のノウハウを持つ教員の指導は、がん医療への取り組みに興味を持つ大学院生のモチベーションを高め、必ず将来の皆様のキャリア形成に役立つと信じております。是非、本学の大学院開講コースに積極的にご参加いただき、志を共にする方々との交流を通して実力を高め、有意義な時を過ごしていただきたいと期待しております。

国際医療福祉大学 大学院長
矢冨　裕

令和5年6月、東京科学大学（旧 東京医科歯科大学）を申請校とし、本学を含む連携7大学が共同で取り組む「次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン」が、文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」事業として採択されました。
本学は、これまでも、文部科学省のがんプロフェッショナル養成プラン事業に参画・貢献してきましたが、今回の事業では、これまでの成果を継承しつつ、国が定める「第4期がん対策推進基本計画」のもと、①がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材、②がん予防の推進を行う人材、③新たな治療法を開発できる人材等のがん専門医療人材の養成を連携大学と共に目指します。
本学では、令和6年4月より各コースが開講され、事業は順調に進んでいます。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

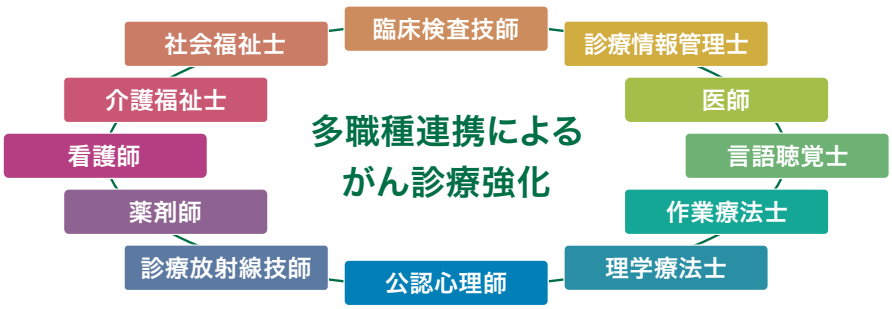
▶ 文部科学省「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」における本学の取り組みについて

本学では第Ⅰ期（2007年～）として自治医科大学との共同事業「全人的ながん医療の実践者養成」、第Ⅱ期（2012年～）には慶應義塾大学を中心とした連携10大学の共同事業「高度がん医療開発を先導する専門家の養成」、第Ⅲ期（2017年～）には東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）を中心とした、がん医療の新たなニーズに対応できる「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」の育成プログラムとして、2018年4月より、「ライフステージに対応したがんプロフェッショナル多職種協働人材育成コース」および「ゲノム解析医療・希少がん診療に精通した医療者育成コース」を大学院課程に開設し、多職種連携をめざしたがんプロフェッショナル医療人材の育成プログラムに取り組んできました。
第Ⅳ期（2023年～）となる本事業、すなわち東京科学大学を中心とした「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」では、これらの成果を継承しつつ、①がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材コース ②がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース ③がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース ④がん看護ＣＮＳコースを設け、連携大学とともに推進して参ります。

▶ 構成7大学連携

- 国際医療福祉大学
- 慶應義塾大学
- 順天堂大学
- 東京歯科大学
- 東京科学大学
- 東京薬科大学
- 東海大学

▶ 多職種連携



▶ 実習先施設

国際医療福祉大学三田病院
（東京都がん診療連携拠点病院）

国際医療福祉大学成田病院
（病院機能評価　一般病院３）

国際医療福祉大学病院
（がん治療中核病院・難病診療連携拠点病院）

第4期がんプロ 本学大学院開講コース　正規課程2年、インテンシブコース1～2年

1 がん医療の現場で顕在化している課題に多職種連携で挑む人材育成コース

対象職種・分野	医師、看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、診療情報管理士、理学・作業療法士、言語聴覚士、生殖補助医療胚培養士、社会福祉士、介護福祉士、公認心理師（臨床心理士）など
養成すべき人物像	多職種連携チームを形成し、がん医療現場で顕在化している課題一痛みの治療やケア、がん関連学際領域への対応、遠隔病理診断や地域での放射線治療などに関しての対応など、広範囲に対応できる医療専門職人材を養成する。
修了者の進路・キャリアパス	医師のみならず看護師、薬剤師、PT・OT・ST、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、ケアマネージャーや介護福祉士、公認心理師など多様な職種の医療スタッフがそれぞれの立場からがん患者に最善の支援を提供できる専門家となり、がん診療病院で指導的役割を担うことを期待され、がん患者、支援者のみならず社会や地域に大きな利益をもたらす。

履修科目例

- ▷がん治療の先端知識の基礎
- ▷医療プロフェッショナリズム・医療安全
- ▷がんのカウンセリング概論
- ▷がん多職種協働アクティブラーニング実習
- ▷かん治療放射線医科学
- ▷がん理学療法学
- ▷がん作業療法学

2 がん個別化医療・創薬の推進を目指したゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材養成コース

対象職種・分野	医師（腫瘍内科・血液内科、遺伝医学、病理医、免疫学、外科、放射線科など）、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラーなど
養成すべき人物像	特にがんゲノム解析技術やがん免疫療法を大きな柱として、最新の個別化医療・創薬開発の推進に関しての知識と意欲を持ち、がんの個別化診療とくにゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う実力を有した医療専門職人材を養成する。
修了者の進路・キャリアパス	医師、薬剤師、臨床検査技師の育成が主眼となるが、その際に看護師、生殖医療胚培養士、遺伝カウンセラー、ビッグデータをもとに研究開発をサポートできるバイオインフォマティシャンなどの多様な職種の医療スタッフがそれぞれの立場から、がん患者に最善の個別化医療に関する最善の支援を提供できる専門家として成長し、がん診療病院の臨床現場で指導的な機能を果たすことを期待する。

履修科目例

- ▷がん遺伝子解析学
- ▷臨床腫瘍学各論
- ▷がん免疫治療学
- ▷がん治療薬学
- ▷がん治療の先端知識の基礎
- ▷がん臨床検査学
- ▷がん予防カウンセリング

3 がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース

対象職種・分野	医師（検診医療、腫瘍内科、緩和医療、遺伝医学、公衆衛生学、外科、放射線科、病理診断科など）、看護師、保健師、薬剤師、歯科医、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、生殖補助医療胚培養士、理学・作業療法士、言語聴覚士、診療情報管理士（診療情報アナリスト、データサイエンティスト）、社会福祉士、介護福祉士、公認心理師（臨床心理士）、がん検診事業管理者など
養成すべき人物像	がんの予防医学・検診医療を大きな柱として、ビッグデータを集積してがんの予防医療の開発に意欲を持つ者が機能的なチームを形成し、EBMに基づく将来への提言をでき、がんの新しい予防施策を提言できるような医療専門職を養成する。さらに本コースでは、がんサバイバーに対する再発予防の観点から身体的・精神的なケア（生活支援や治療支援）に携わる人材の養成を行う。
修了者の進路・キャリアパス	医師（遺伝専門医、腫瘍内科医、緩和ケア）のみならず専門看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、ケアマネージャーや介護福祉士、リハビリ職種、公認心理士など多様な職種がが診療病院で指導的役割を担うことを期待する。

履修科目例

- ▷予防医学総論
- ▷予防医学各論
- ▷がん診療の基礎知識
- ▷医療プロフェッショナリズム・医療安全
- ▷がんのカウンセリング概論
- ▷生物統計学概論
- ▷医療福祉データサイエンス
- ▷がん治療放射線医科学
- ▷がん予防カウンセリング
- ▷臨床心理学概論

4 がん看護CNSコース

対象職種・分野	看護師・がん看護CNS コースに在籍している大学院生
養成すべき人物像	がん看護専門看護師として、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族、医療従事者等に対して質の高い看護を提供する為に必要な専門的知識、技術、態度を修得することが出来る人材を養成する。
修了者の進路・キャリアパス	修士課程修了後、日本看護協会のがん専門看護師試験に合格し、各地域においてがん看護専門看護師としてがんの個別化医療を支える人材として活躍することが出来る

履修科目例

- ▷高度実践がん看護学講義Ⅰ がんに関する病態生理学
- ▷高度実践がん看護学講義Ⅱ がんに関する理論
- ▷高度実践がん看護学講義Ⅲ がんに関する看護援助論
- ▷高度実践がん看護学講義Ⅳ がん薬物療法看護

シラバス・コース修了認定要件・申込方法等は、本学がんプロHP
https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/ をご参照願います。
大学院生の方々は、コース選択のご参考として上記コースの講義の一部を「国際医療福祉大学VODライブラリー」
https://www.ch774.com/student/ にて視聴できます。

国際医療福祉大学 VOD ライブラリー

本学がんプロHP

シンポジウム・公開講座等

●多職種協働市民公開シンポジウム　●市民公開講座　●セミナー　●教育ワークショップ

対 象：本学・連携校の大学院生・教職員、本学グループ病院教職員、医療従事者、一般市民の方

本学大学院がんプロでは、毎年2～3回、参加無料・ハイブリッド開催（東京赤坂キャンパス ＋ オンライン）でシンポジウム等を実施しています。詳細はがんプロHPをご参照願います。

本学がんプロHP

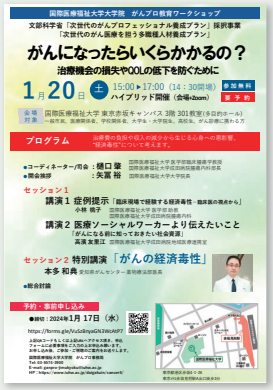
〈実績例〉

● 多職種協働市民公開シンポジウム

2023年度
女性のがん　予防と遺伝
― 親から子供に伝えること ―

2024年度
脂肪性肝臓病から
肝硬変、肝がんに

● 教育ワークショップ



2023年度
がんになったらいくらかかるの？
― 治療機会の損失や
QOLの低下を防ぐために ―

2024年度
遺伝性のがんに立ち向かう
― リスク評価と予防支援 ―

過年度のイベントにつきましては、本学・連携校の大学院生・教職員、本学グループ病院の教職員、イベントにご参加いただいた方々は「国際医療福祉大学VODライブラリー」にて期間限定でご視聴できます。
詳細は本大学院がんプロ事務局までお願いします。

国際医療福祉大学
VOD ライブラリー

2023年度
多職種協働市民公開シンポジウム　ご講演いただいた先生方

2024年度
教育ワークショップ　ロールプレイ説明

2024年度
教育ワークショップ　講演

国際医療福祉大学大学院

がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン事務局
〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26
Tel. 03-5574-3900
Email　ganpuro-jimukyoku@iuhw.ac.jp

GoogleMap